

2月臨時市長記者会見案件（10日開催）

- 令和5年度当初予算案の概要について

（財政課）

〈添付資料〉

- 令和5年度 山形市当初予算案の特徴

（財政課）

※ 全体資料となる令和5年度当初予算案の概要（内示会資料）については、先にお配りしているものをご持参ください。

〈資料のみ〉

- なし

次 回 2月定例記者会見
次々回 3月定例記者会見

2月16日（木）13：45から
3月23日（木）11：00から

令和5年度 山形市当初予算案の特徴 [一般会計当初予算額 987億1,200万円]

令和5年2月10日
全員協議会資料

- ◆ 健康医療先進都市及び文化創造都市の実現に向けて「山形市発展計画2025」に基づく事業を推進する。
- ◆ 多くの戦略的拠点施設等を活用した、「新たな価値の創造」、「教育情報化の推進による未来を担う人材の育成」、「持続可能な地域公共交通の形成」に取り組み、地域の魅力向上と地域課題の解決を促進する。

1 新たな価値の創造

「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」を核とし、「粋な町七日町」通称「粋七」をテーマとした街区整備や「旧千歳館」の保存・活用を行うなど、多彩な地域資産と伝統文化の融合による新たな価値の創造を推進し、中心市街地の活性化を図る。



- ・Q1プロジェクト推進事業 54,563千円
「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」の運営や情報発信を行うとともに、新たな価値創造のため地元企業との連携や人材育成業務等を行い、創造都市の拠点としての機能を推進し、中心市街地をはじめとするまちづくりの発展や地域経済の活性化を目指す。

- ・やまがた秋の芸術祭開催事業 7,650千円
市民をはじめ多くの人々が多彩な文化芸術に身近に触れる機会を創出するため、「やまがた秋の芸術祭」を開催する。
- ・旧千歳館エリア・リノベーション事業【新規】 28,322千円
旧千歳館の建物を保存・活用し、山形芸妓・料亭文化を次代に継承していくための拠点施設にするとともに、庭園は都市公園として整備することにより、「伝統文化の継承と癒しの空間創造による賑わい創出及び交流人口の拡大」を図る。令和5年度は、当事業の骨格を形作る建物及び公園の基本設計を行う。
- ・旧千歳館を活用した街なか観光活性化事業【新規】 9,000千円
旧千歳館の利活用開始までの暫定利用として、やまがた舞子を活用したイベントの開催や庭園等のライトアップにより四季折々の魅力を発信し、街なか観光の活性化を図る。
- ・粋七エリア整備事業 551,862千円
中心市街地である七日町地区において、「粋な町七日町」通称「粋七」をコンセプトに料亭文化や御殿塚を活用した風情ある空間を創出し、景観性の高い街並みと街なか回遊の向上を目指した街区整備に取り組む。



2 教育情報化の推進による未来を担う人材の育成

小中学校における電子黒板等のICT機器の積極的な導入や、学習支援ソフトを活用し、同じ教室にいらながらも個別最適な学習の提供と創造性を育む教育の実現を目指す。



- ・学習支援ソフト導入実証事業【新規】 59,599千円
小学校5年生以上にAIドリル、全市立中学校にプログラミングに特化したソフトを導入（東日本の県庁所在地都市では初）し、児童生徒の特性に応じた学習環境の整備を図る。
- ・学校図書館情報化事業【新規】 115,651千円
学校図書館をメディアセンターとして整備し、児童生徒が図書やICTを活用しながら自主学習や創作活動ができる環境づくりに取り組む。
- ・学校現場のICT化に向けた機器等整備事業 187,160千円
普通教室・特別教室への電子黒板の導入及び授業支援ソフトの活用により、タブレット端末との併用による学習効果の拡大を図る。
- ・家庭学習のための通信機器整備支援事業 6,759千円
タブレット端末を活用したICT教育を推進するため、インターネット環境の整っていない家庭に対するモバイルルーターの貸し出しを小中学校の全学年に拡大し、家庭におけるオンライン学習の更なる推進を図る。
- ・統合型校務支援システム整備事業 36,411千円
統合型校務支援システムによる情報の一元管理に取り組み、校務の効率化による教職員の業務負担の軽減と児童生徒に対する教育の充実を推進する。

3 持続可能な地域公共交通の形成

日常生活における利便性の向上や高齢者の外出機会を創出するため、MaaSの活用や地域の実情に応じた新たな公共交通の実現に取り組む。



- ・地域公共交通計画推進事業 27,584千円
日常生活における移動の利便性と回遊性の向上を図るため、多様な交通手段の選択を可能とするMaaS「らくのる」のサービス提供や、市民や来訪者の移動需要に対応するコミュニティサイクルの運営を行う。また、村木沢地区と金井地区での公共交通の導入に向けた実証運行を引き続き実施するとともに、新たに楯山地区と滝山地区での運行実験に取り組む。
- ・公共交通運行事業 60,627千円
コミュニティバス等の運行事業を実施するとともに、公共交通マップの作成等を通して、公共交通の利用促進を図る。また、コミュニティバス東部及び西部循環線において、バス利用者の利便性と中心市街地での回遊性向上を図るため、国道112号線沿いに「Q1前」バス停を新たに整備する。
- ・高齢者移動支援サービス検討事業 1,268千円
買い物や通院などの日常生活を支援するため、南沼原地区と出羽地区でのタクシーを活用したモデル事業を引き続き実施するとともに、新たに中山間地等の住宅点在地での広域的な移動支援サービスの導入に向けたモデル事業に取り組む。

4 その他、地域の魅力向上と課題解決に資する特徴ある事業（◎は発展計画の重点政策名）

- ◎健康の保持・増進
 - ・「山形コホート研究」を活かした健康づくり事業【新規】348千円（山形大学と連携し市民の健康意識の向上に取り組む。）
 - ・子ども医療給付事業 1,082,484千円（新たに高校生の入院費無料化に取り組む。）
- ◎健やかな子どもの育成
 - ・部活動の地域移行に向けた支援事業【新規】18,631千円（運動部・文化部を対象としたモデル事業等に取り組む。）
 - ・子ども家庭センター設置・運営事業 18,549千円（児童福祉と母子保健の包括的な相談支援を行う。）
 - ・特定不妊治療費助成事業 15,029千円（医療保険適用外の先進医療による不妊治療に対し助成を行う。）
- ◎地域共生社会の実現
 - ・聴こえくつきり事業【新規】4,163千円（医・産・学・官連携による難聴の早期発見・対応等に取り組む。）
 - ・介護予防モデル再構築事業【新規】14,550千円（「元気あつぷ教室」を柱とした介護予防事業の再構築に取り組む。）
- ◎地域経済の活性化
 - ・大規模空き店舗等長期活用検討事業【新規】12,074千円（旧大沼と周辺エリアの長期的な活用に向けて検討を進める。）
 - ・（仮称）山形北インター産業団地開発事業 242,217千円（造成工事への着手及び企業調査等による誘致活動を進める。）
- ◎山形ブランドの浸透と交流の拡大
 - ・ラーメンプロジェクト推進事業【新規】10,664千円（ラーメン文化の魅力発信等による誘客と消費拡大を促進する。）
 - ・道の駅整備事業 959,891千円（令和5年12月の供用開始を目指し、道の駅「（仮称）やまがた蔵王」の整備を進める。）
- ◎都市の活動を支える基盤整備
 - ・高齢者、障がい（児）者個別避難計画作成モデル事業【新規】1,050千円（要支援者の個別避難計画の作成に取り組む。）
 - ・東消防署蔵王温泉出張所移転・建替事業 447,537千円（令和7年度の運用開始を目指し建築工事に着手する。）
- ◎環境保全
 - ・次世代自動車導入事業 26,815千円（次世代型自動車を活用し、市民や観光客等とのカーシェアリング等に取り組む。）